

平成 21 年 11 月吉日

MH 研究者 各位

平成 21 年度第 3 回メタンハイドレート研究アライアンス講演会の開催について

産業技術総合研究所 メタンハイドレート研究センター
センター長 成田 英夫

謹啓

初冬の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当メタンハイドレート研究センターではメタンハイドレートに係る研究開発と併せ、人材育成、技術移転、情報発信などの研究アライアンス事業を実施しています。この度、研究アライアンス事業の一環として別添のような講演会を計画致しました。つきましては、各位におかれましてはお忙しい時期とは存じますが、実りある講演会とするためにもご参加を賜りたく、ご案内申し上げます。

なお、会議出欠のご連絡につきましては、11 月 25 日（水）までに事務局小野宛 (a.ono@aist.go.jp) へご連絡頂ければ幸いです。

敬具

(独) 産業技術総合研究所
メタンハイドレート研究センター
研究アライアンス事務局
TEL : 011-857-8945

メタンハイドレートなどの開発時における地盤環境に係る課題解決に向けて
－事例、解析、そして、モニタリング－

1. 目的

石油、天然ガスなどの開発は地表沈下など様々な影響を及ぼすことが知られている。これはメタンハイドレート開発の場合も例外ではなく、メタンハイドレート開発時における地盤挙動を予測する解析手法の必要性を示すものである。また、メタンハイドレートを継続して安定的に開発するためには坑井の健全性や坑井への出砂状況を把握することが不可欠で、そのための解析手法の開発も急務であるとされている。さらに、メタンハイドレートの本格的な生産時には地盤変動を継続して把握すること（モニタリング）が必要であるなど、メタンハイドレートなどの開発時における地盤環境に係る課題は少なくない。

本講演会はこれら地盤環境に係る課題解決の一助となることを目的に実施するもので、話題提供および総合討論から問題点や解決の方向性などを明確にしたい。

2. 日時

平成 21 年 11 月 30 日（月） 13 : 00～16 : 30

3. 場所

産業技術総合研究所（AIST）臨海副都心センター本館 4 階第 1 会議室
（添付資料を参照下さい）

4. 題目・講演者など

13:00～13:10 開会の挨拶

メタンハイドレート研究センター センター長 成田 英夫

13:10～13:30 メタンハイドレート開発時における地盤挙動解析手法（COTHMA）

メタンハイドレート研究センター 副センター長 天満 則夫

13:30～14:10 千葉県水溶性天然ガスの開発と地盤沈下への対応

関東天然瓦斯開発株式会社 茂原鉱業所取締役工務部長 木村 健
茂原鉱業所開発部マネージャー 小勝 武

14:10～14:25 休憩

14:25～15:05 粒子移動と気泡の発達を考慮した地盤挙動の SPH 法解析

名古屋工業大学大学院 准教授 前田 健一

15:05～15:45 地盤挙動のモニタリング

日鉱探開株式会社 開発部技師長 広岡 知

15:45～16:25 総合討論

座長 東邦大学理学部 教授 山口 勉

16:25～16:30 閉会の挨拶

メタンハイドレート研究センター アライアンス事務局

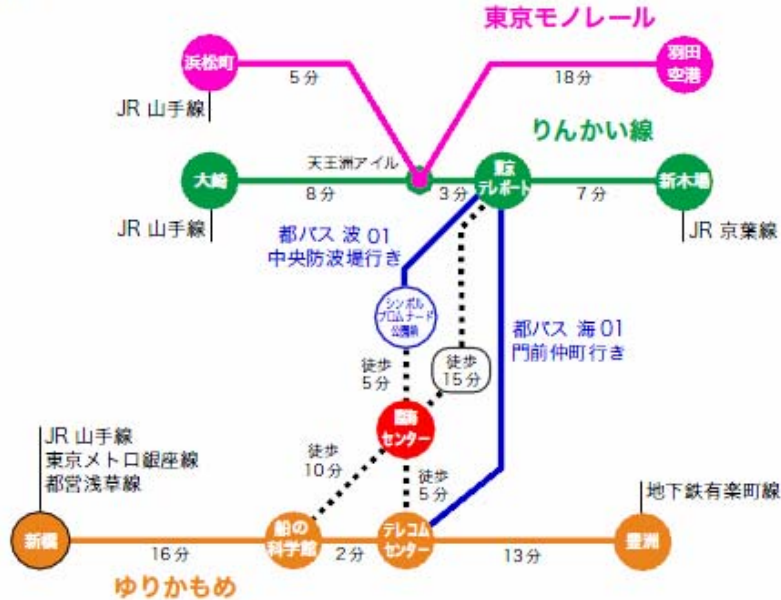
アクセスマップ

臨海副都心センター Tokyo Waterfront Center

・周辺地図



・公共交通機関



拠点名	住所	代表電話番号
臨海副都心センター	〒135-0064 東京都江東区青海2-41-6	電話：03-3599-8001